

ミニ勉強会のご案内

はじめの一步、そしていま

～ 公衆衛生看護の実践活動から学ぼう ～

令和6年は、能登半島沖地震で始まりました。災害はいつ襲ってくるかわかりません。被災された人びとが、新たな生活再建に向け立ち直ることを支える職種として保健師・看護師等の活動が求められています。地域や職域の健康づくり等の課題に対し、保健医療福祉を学んだ医療専門職としての活動について、あまり知られていないのではないのでしょうか。

公衆衛生を担う看護専門職に求められることは、「見て」→「つないで」→「動かす」と言われていますが、一朝一夕にそのスキルは身につきません。

専門職になるまでには、まず目指そうとしたその人なりのきっかけや、資格を得たあとの、“はじめの一步”が誰にもあるはずです。どうやって地域や職域に入り、仕事を拡げていったのか。

今回は被災地支援の経験もある先輩保健師の現場の実践活動を通して、あらためて、公衆衛生を担う看護専門職としての役割とは何か、何が我々に期待されていることかについて、皆さんと一緒に考え意見交換をする機会にしたいと企画しました。万障お繰り合わせの上ご参加いただきたくご案内申し上げます。

NPO 法人・保健科学総合研究会
会 長 清水 嘉与子

- 【日 時】 令和6年5月17日（金曜日） 14時～16時
- 【会 場】 文京区区民センター2階B会議室 〒113-0083 東京都文京区本郷4-15-14
03-3814-6731(代表) ※地図・アクセスは裏面申込用紙に記載
- 【テーマ】 はじめの一步、そしていま ～ 公衆衛生看護の実践活動から学ぼう～
- 【講 師】 多田 芳江氏（NPO 法人・保健科学総合研究会 専務理事）
元 厚生労働省大臣官房会計課 福利厚生室 保健相談室 保健師
現 柏おひさま訪問看護ステーション 所長
日本医師会 ぽによ健康相談室
- 【定 員】 30名程度
- 【費 用】 会員 1,000円、非会員 2,500円（当日支払可能）
- 【申し込み期限】 5月15日まで

【お申込み、お問い合わせ先】

NPO 法人・保健科学総合研究会
事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷6-24-5
申込み FAX 03-3816-0139 info@hosoken.or.jp

主催：NPO 法人保健科学総合研究会／ 協力：株式会社社会保険出版社

送付先 Mail info@hosoken.or.jp Fax 03-3816-0139

参加申込書

以下の、項目に関して、ご記入をお願いします。

項目	記載内容		
ご氏名			
ご所属			
ご職種			
会員区分 ○を	会 員	賛助会員	非会員
連絡先	Mail		
	電話（携帯）		
質問事項			
<p>会場案内 所在地：〒113-0083 東京都文京区本郷4-15-14</p> <p>交通アクセス 最寄駅</p> <ul style="list-style-type: none">●東京メトロ丸ノ内線 後楽園駅 4b または 5 番出口【徒歩 6 分】●東京メトロ南北線 後楽園駅 5 番出口【徒歩 6 分】●都営地下鉄三田線／大江戸線 春日駅 A2 出口【徒歩 2 分】●JR 中央・総武線 水道橋駅【徒歩 10 分】			
<p><会場案内> 文京区民センター</p>			
当日の緊急連絡先	多田：090-3542-9700	齋藤：090-8174-8041	

※いただいた個人情報は、本研修会の目的のみに使用します。